

◆次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

昔、＊唐土に北叟＊ほくそうといふ翁おきなあり。賢く強き馬を持ちたり。これを人にも貸し、我も使ひつつ世を渡る頼

世間で生きていく

1

りにしけるほどに、この馬いかがしたりけむ、いづちともなく失せにけり。聞き渡る人、「いかばかり嘆

手段

くらむ」とて訪とがらひければ、「悔いず」とばかり言ひて、つゆも嘆かざりけり。あやしと思ふほどに、この

馬、同じ様なる馬を多く具して来にけり。いとありがたきことなれば、親しき、疎うとき、喜びを言ふ。か

かれども、また「悦よろこばず」と言ひて、これをも驚く気色けしきなくて、この馬あまたを飼ひてさまざまに使ふ

5

間に、翁が子、今出いで来たる馬に乗りて、落ちて右肘みぎひじを突き折りにけり。聞く人、目を驚かして訪ふにも、

新しくやって来た馬

お見舞いに行
った時も、

なほ「悔いず」と言ひて気色も変はらず、つれなく同じ様にいらへて過ぎけるに、その頃にはかに国に

何事もなく

答えて

戦おこりて兵つはものを集められけるに、国中さもある者残りなく出でて皆死ぬ。

語注

＊唐土…現在の中国のこと。

＊北叟…北方の国境近くに住む老人の呼び名。

問1 傍線部の現代語訳として最も適当なものを次から選べ。

ア どれほど嘆いているだろうか。

イ どんなに嘆いたことだろうか。

ウ おそらくひどく嘆いたことだろうか。

エ きつとたいそう嘆いているだろう。

問2 本文の内容に合致するものを、次から一つ選べ。

ア 翁は元の飼い馬が多く、馬を引き連れて戻ったので不思議に思った。

イ 翁は馬を失っても反対に馬が増えても嘆きも喜びもなかった。

ウ 戦争が起きて多くの若者は死んだが翁の息子は骨折だけで済んだ。

エ 翁は目を疑うようなひどい骨折をしても決して後悔しなかった。

5 復習 「十訓抄」

名前 年 組 番

正答数

12

検印

文法Q 傍線部①～⑤について、本文横の□に、意味・活用形を埋め、文法の説明を完成させよ。

省略Q 本文横の□に省略された語句を記せ。（本文中の語句で答えること。）

昔、唐土に北叟といふ翁あり。賢く強き馬を持ちたり。これを人にも貸し、我も使ひつつ世を渡る頼

りにしけるほどに、この馬いかがしたりけむ、いづちともなく失せにけり。聞き渡る人、「いかばかり嘆

助動詞 形

助動詞 形

くらむ」とて訪ひければ、「悔いず」とばかり言ひて、つゆも嘆かざりけり。あやしと思ふほどに、この

助動詞 形

主語 助動詞 形

馬、同じ様な馬を多く具して来にけり。いとありがたきことなれば、親しき、疎き、喜びを言ふ。か

助動詞 形

かれども、また「悦ばず」と言ひて、これをも驚く気色なくて、この馬あまたを飼ひてさまざまに使ふ

主語 形

間に、翁が子、今出で来たる馬に乗りて、落ちて右肘を突き折りにけり。聞く人、目を驚かして訪ふにも、

なほ「悔いず」と言ひて気色も変はらず、つれなく同じ様にいらへて過ぎけるに、その頃にはかに国に

主語 形

戦おこりて兵を集められるに、国中さもある者残りなく出でて皆死ぬ。

単語Q 波線部㉠～㉤の本文中での意味を答えよ。（活用する語は終止形の訳語でよい。）

☒ その他の覚えておきたい単語

世を渡る…世間で生きていく。

いづち…どちら。どの方向。

いかばかり…どれくらい。どれほど。

にはかなり…急だ。だしぬけだ。

㉠ ㉡ ㉢ ㉣ ㉤

㉠ ㉡ ㉢ ㉣ ㉤